



まちの話題 topics

1月のできごと



フィリピンでの被災者等の支援に

昨年の台風第30号で甚大な被害を受けたフィリピンに対する義援金が、共同募金委員会知名支会長の平安正盛町長から知名町社会福祉協議会へ寄贈されました。この義援金（5万3千円）は、日本赤十字社へ送付され、フィリピンの被災者等の支援活動に役立てられます。



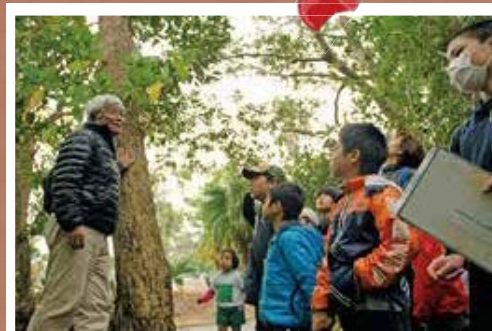
ボランティア・エコキャップ送付作業

知名町青年連絡協議会（宗村好信会長）が、1月12日にウジジ海岸からホーシ橋公園までの約2キロにかけて、ボランティア作業を行い、軽トラック1台分のゴミを収集しました。また、このあと、4回目となるエコキャップ、プルタブの送付作業も行いました。



団体は男女とも田皆が制す

第39回知名町スポーツ少年団卓球大会が、1月19日、町民体育館でありました。団体戦には、男子17チーム、女子9チームが出場し、男女とも田皆Aが制しました。個人戦には、男女あわせて97名が出場し、各学年とも白熱した試合が繰り広げられました。



大山の遊歩道を散策

大山の遊歩道に生息する植物などを子供たちに知ってもらおうイベントが、1月26日にあり、上城小の生徒など約30名が参加しました。講師を務めた知名町文化財保護委員の新納忠人さんが、植物の生態などについて丁寧に説明すると、子供たちは興味深く観察していました。



テントを贈呈

沖永良部・与論地区で危険物を取り扱う事業所で組織する沖永良部与論地区危険物安全協会（東山榮三会長、会員数38事業所）が、発足30周年を迎えた沖永良部与論地区広域事務組合消防本部に対し、記念品として軽量テント2張りを贈呈しました。1月30日に消防本部で贈呈式があり、東山会長は「日頃、消



防署には危険物の取扱業務で大変お世話になっている。（テントを）業務の中で活用してください。」とあいさつを述べ、これに対し、西田實消防長は「このテントは、軽量で短時間で設置できるので、災害時や訓練時の指揮本部の設置の際などに使用したい。」と述べました。